

## I 第37週の発生動向 (2016/9/12~2016/9/18)

1. 警報・注意報は、発令されていません。
2. ヘルパンギーナは、県全体では患者報告数が減少に転じましたが、むつ保健所管内では依然として増加が続いており、警報開始基準値(定点あたり6人)近くまで増加しています。
3. RSウイルス感染症は、東地方保健所+青森市保健所、弘前保健所、上十三保健所、むつ保健所管内で患者報告数が増加しており、特に弘前保健所管内での増加が目立っています。
4. むつ保健所管内では、マイコプラズマ肺炎の患者報告が続いており、今週は前週の2人から8人に増加しました。
5. インフルエンザの患者報告数は1人で、迅速診断キットによる型別はA型でした。

## II 第37週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	1	0.08											1	0.02	1
	RSウイルス感染症	4	0.50	32	3.56	28	2.80	1	0.20	10	1.67	5	1.25	80	1.90	24
小児科	咽頭結膜熱	3	0.38					1	0.20	1	0.17			5	0.12	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	4	0.44	35	3.50	1	0.20	2	0.33	1	0.25	45	1.07	-3
	感染性胃腸炎	12	1.50	6	0.67	38	3.80	12	2.40	1	0.17	6	1.50	75	1.79	-45
	水痘			1	0.11					1	0.17	4	1.00	6	0.14	-3
	手足口病	7	0.88	15	1.67	8	0.80	2	0.40	4	0.67	1	0.25	37	0.88	2
	伝染性紅斑	5	0.63							1	0.17			6	0.14	0
	突発性発しん	3	0.38	1	0.11	9	0.90			2	0.33	2	0.50	17	0.40	-4
	百日咳	5	0.63											5	0.12	5
	ヘルパンギーナ	21	2.63	18	2.00	22	2.20	10	2.00	14	2.33	23	5.75	108	2.57	-24
	流行性耳下腺炎	10	1.25	1	0.11			1	0.20	5	0.83	5	1.25	22	0.52	9
眼科	急性出血性結膜炎					1	0.50							1	0.09	1
	流行性角結膜炎					5	2.50							5	0.45	0
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-2
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					8	8.00	9	1.50	5
	無菌性髄膜炎															-2
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

# 感染症の窓

## 結核 (二類全数把握疾患) 第2回

厚生労働省においては、毎年9月24日から30日までを「結核予防週間」として、結核予防に関する普及啓発などを行っています。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、**カゼのような症状**を呈することが多いですが、高齢者では結核を発症しても症状が軽症のまま経過することがあり、また、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

2015年は、全国で24,995人の結核発生届(患者、無症状病原体保有者、疑似症患者)が出されました。

2016年は、全国で第36週までに、合計16,649人の結核発生届が出され、青森県では、合計204人の結核発生届が出されました。

結核を予防するためには、定期的に健康診断を受けることが重要です。カゼのような症状が長く続くようなら、医療機関を受診しましょう。**他の人への感染を防ぐため、早期発見、早期治療が重要です。**

※ 詳しくはこちらをご覧ください。→ [厚生労働省 HP](#)



出典: 厚生労働省 HP

### Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：青森市+東地方1人、弘前1人、八戸1人、上十三2人 (2016年計:209人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患)：弘前1人 (2016年計: 4人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：弘前1人 (2016年計: 12人)

### Ⅳ 病原体検出情報

※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・下気道炎患者(鼻汁、8/27)・・・RSウイルスB：八戸1人
- ・不明熱患者(咽頭ぬぐい液、8/30)・・・ヒトライノウイルスC：八戸1人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第34週～2016年第37週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	H28.8.22 ~ H28.8.28	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症10人			
35	H28.8.29 ~ H28.9.4				腸管出血性大腸菌 感染症1人		
36	H28.9.5 ~ H28.9.11		梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症3人			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人
37	H28.9.12 ~ H28.9.18		レジオネラ症1人 梅毒1人				

### Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2016年第34週～2016年第37週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	H28.8.22 ~ H28.8.28		1		1	1	3
35	H28.8.29 ~ H28.9.4		2	2	1		
36	H28.9.5 ~ H28.9.11	2	2	2	1	1	
37	H28.9.12 ~ H28.9.18	1	1	1		2	

### Ⅶ 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第36週累計)

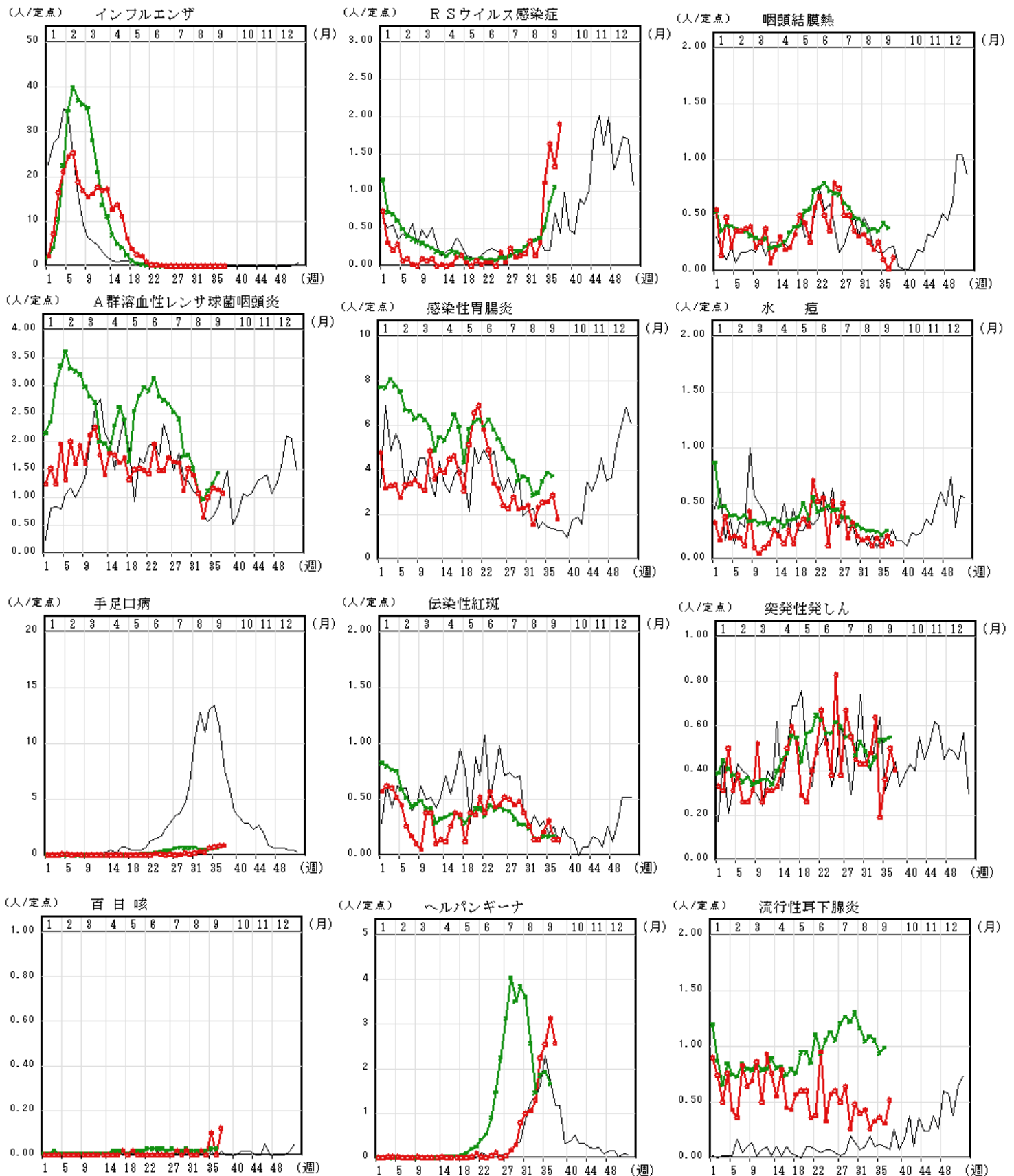
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	16649	6	90	2575	32	12	289	215	14	4
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	7	3	7	40	1	8	93	244	146	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	3	37	5	989	30	801	194	999	587	9
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	125	364	979	45	225	33	1869	209	2991	85
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アンネトバクター感染症					
累積報告数	87	38	99	115	25					

青森県 (2016年第1週～第37週累計)

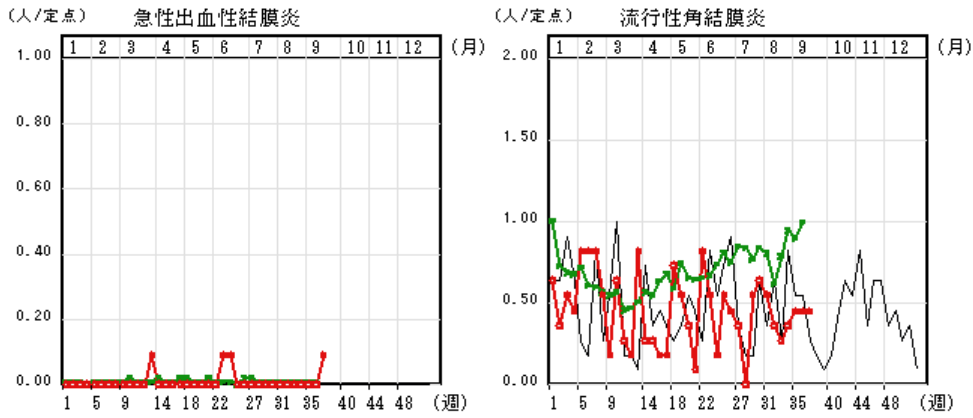
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症
累積報告数	209	89	5	3	1	5	4	2	10	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒				
累積報告数	3	3	2	7	3	12				

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第37週、ただし全国は前週)

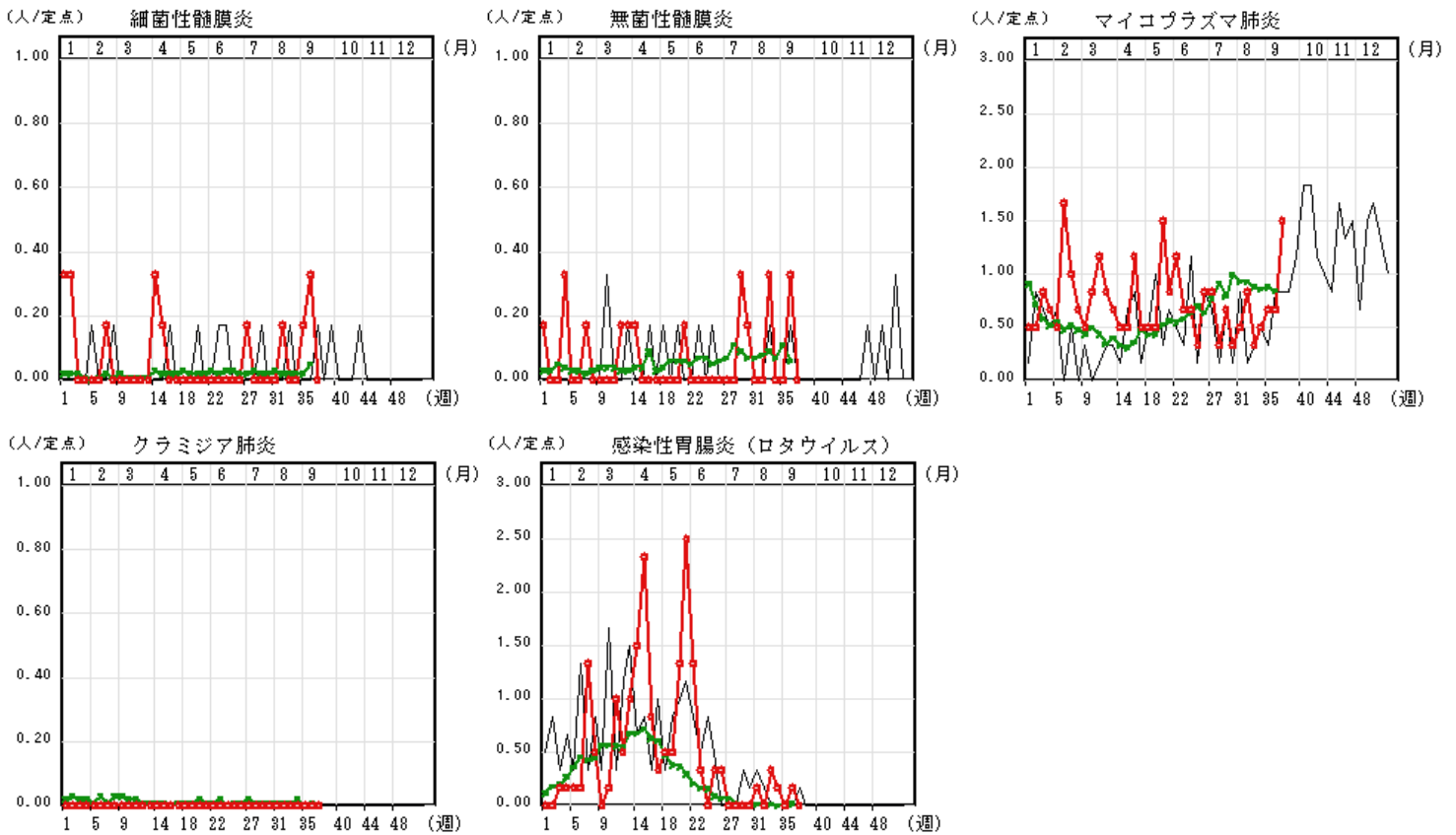
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第37週、ただし全国は前週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第37週、ただし全国は前週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第37週

報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35週	36週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	308